

社会福祉施設等における 節電アイデアを募集します

- 未曾有の大震災により、東京電力・東北電力管内の電力供給量が大幅に減少しており、夏場に向けて、需給悪化が見込まれています。
- 社会福祉施設等においては、利用者への配慮が必要ですが、この危機を乗り越えるため、最大限の節電への御協力をお願いします。
※ 電力のピーク期間・時間帯は、7～9月（平日）の10～21時です。
- そこで、社会福祉施設等における節電対策として、どのようなものが考えられるか、現場の第一線で御活躍中の皆様からのアイデアを広く募集します！

募集期間

平成23年4月19日（火）～5月10日（火）

提出先

メールの場合 : syafukudenryoku@mhlw.go.jp

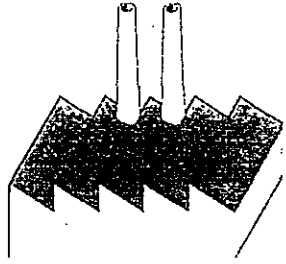
ファックスの場合 : 03-3591-9898（厚生労働省社会福祉施設節電担当宛）

提出方法

- 様式自由、匿名で結構です。
- なお可能であれば、勤務先種別（特養、ケアホーム等）も御記入ください。

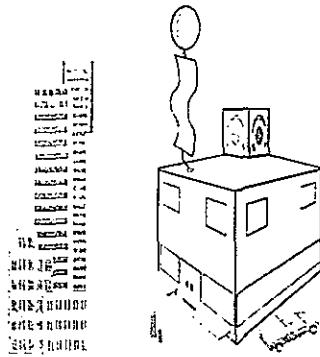
夏期節電対策の具体例

大口・小口需要家



産業分野
(製造業他)

- ・生産プロセスの一層の合理化、設備運用の最適化
- ・省エネ設備の導入
- ・節水の推進
- ・操業時間/日の短縮、シフト
- ・夏期休業の設定・長期化・分散化 他



業務分野
(オフィスビル、商業施設、
飲食店、ホテル、学校他)

- ・空調温度の引き上げ(目安温度の設定)
- ・照明の削減(窓際での消灯、ネオンの消灯など)
- ・空調時の換気量調整(今より少なく)
- ・建物の遮熱性向上(窓に遮熱フィルム、ブラインド他)
- ・パソコン、プリンター等のOA機器の使用削減等
- ・省エネ設備の導入
- ・節水の推進
- ・営業時間/日の短縮、シフト
- ・夏期休業の設定・長期化・分散化
- ・節電ビズ(クールビズの一層の強化) 他

家庭



- ・空調温度の引き上げ(目安温度の設定)
- ・扇風機の利用(エアコンの代わりに扇風機を)
- ・照明の消灯(昼間は使わない)
- ・家屋の遮熱性向上(すだれやカーテンの利用を)
- ・待機電力の削減(使わない家電はコンセントを抜く)
- ・省エネ家電製品の導入(白熱電球からLED・電球型蛍光灯など)
- ・節水の推進
- ・家族はなるべく一部屋で団らんを
- ・電力需要ピーク期の家族旅行 他